

びわこ大なまず通信

第 3 号

平成 17 年 1 月 1 日発行
びわこ惑惑クラブ

新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。

会員の皆さまには、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。発足以来、びわこ惑惑クラブも着実に成長を遂げてきました。クラブのメンバーも少しずつ充実し、新しい仲間も増えてきました。

今年は滋賀県で「日本真ん中大会」のイベントが催され、われわれもラグビーで交流の予定です。また、「ねんりんピック」も福岡で開催されます。これにも出場したいと企画中です。技を磨きつつ親睦を深め、びわこ惑惑クラブも“酉年”に因んで大いに“飛躍”しましょう。

平成 17 年元旦



会長 雲川 昂

琵琶湖周航の歌

富田 裕作

ピッ、ピー。ノーサイドのホイッスル。センターラインをはさんで、試合終了の挨拶。エールを交換し、両軍歩み寄って握手、握手。シャワーを浴び服装をととのえて、アフターファンクションの会場へと急ぐ。待ちきれない仲間の何人が、もうジョッキを傾けている。

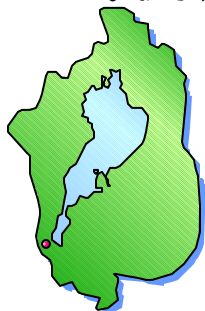
やがて両軍の全員がそろい、健闘をたたえあい、友好を確かめ合うスピーチが始まる。そして、あちこちで何人が集まり、ジョッキ片手にラグビー談義の花が咲く。「きょうはあんたところのハーフの動きに、まったく幻惑されたア」「いやいや、あんたところのセンターに走り回られて参った、参った」。しかし、勝負は問題外。勝った負けたは話題にのぼらない。話がはずみ、ジョッキの数も増え、雰囲気は次第に盛り上がっていく。わいわい、がやがやで 50 分経過。

やがてムードが最高潮に達した頃、誰いうことなく全員が立ち上がり、肩を組んでひとつの環をつくる。いよいよ琵琶湖周航の歌の合唱である。

『われは湖の子さすらいの、旅にしあればしみじみと・・・』

大分おつむが薄くなり、少しお腹のつき出たおじさんたちが、左右にウエーブをつくりながら、腹の底からどら声をはりあげ、歌い続ける。しかし、その顔と目の色は、ン 10 年前の少年の日そのまま。古希をすぎた自分も、この時ほど心が昂揚し、感極まることはない。・・・歌い終わるとその余韻を残したまま、ホストチームのわれわれは、出口で向き合って 2 列にならぶ。その間を相手チームが帰っていく。ありがとう、さようなら、またこんど。握手、握手、握手、握手。感激のひとこまである。

湖国に生きている限り、琵琶湖周航の歌を歌う機会や、聞く機会が多い。しかし、この時ほど感激し、心がたかぶることはない。おじさんが守山木浜の出という加藤登紀子さんに、いちどこの光景を見せてやりたい。そしてこの歌声を登紀子さんに聞かせたい、と思う。



雑感 「嗚呼！早・明」

貴田 哲弘



早稲田にも明治にも何の関係ない自分が、何故か早明戦に心が惹かれている。ビデオを毎年撮っている。ラグビーが持つ魅力を純粋な精神で包んだ学生が、学校の、唯その名誉に向かって直向きに突き進む姿に胸が熱くなるのは私だけではないだろう。

勿論、学生ラグビーの最高レベルの激突である。最近とみに向上したトップリーグのレベルには到底及ばないにしても、学生の域を越える気迫を感じる。何よりも最高の試合を、最高の相手とお互いが認めあったゲームである。新興の学生チームにない伝統の馴染み深さが肌についている。



宿沢が走った。グラウンドを叩いて松尾が悔しがった。堀越が涙を流した。その時々感動が今も昨日の如く蘇る。青春の真っ只中にその人の持てる熱き情を全部ぶちまけた後に残る爽やかさをしみじみと味わって、その情に絆されるのである。

—— 男のロマンだ ——

関東の早明に匹敵するのに関西には同志社・立命戦がある。同志社を眼中に置いていなかった時代の立命に想いを馳せて今回の同立戦に熱い視線を送っている。

(早明戦)

(同立戦)



< 最近の戦績 >

月 日	場 所	対戦相手	結 果
9 / 19 (日)	希望が丘競技場	芦屋楽惑クラブ	びわこ 68 - 0 楽惑ク
10 / 28 (土)	朽木グラウンド	どんぐりクラブ	びわこ 27 - 27 どんぐり
10 / 24 (日)	皇子山陸上競技場	岐阜惑惑クラブ	びわこ 15 - 29 岐阜惑惑
11 / 14 (日)	"	八幡工OB	びわこ 12 - 22 八工OB
12 / 7 (日)	天理親里グラウンド	天理オールドベア	びわこ 12 - 24 オールドベア



どんぐり戦アフターファンクション



岐阜惑惑クラブ戦



岐阜戦アフターファンクション

< 会計から >

次期海外遠征が煮詰まってきました。まだ遠征費用の積み立てをされていない会員のみなさん、下記の口座に振り込んでください。

滋賀銀行 京都支店 ・ 普通預金 びわこ惑惑クラブ海外遠征 ・ 店 番：918 ・ 口座番号：608544

< 編集後記 > 海外遠征も 2007 年に決まった。日本真ん中共和国フェスタ、福岡ねんりんピックと忙しい 1 年になりそうである。更なる会員相互のコミュニケーションの充実をはからねばならない。
松 田